

令和6年5月2日

保護者の皆さんへ

しらぎく幼稚園
園長 東海林 肇

園長だより「かけはし」

風薫る5月、新緑がまぶしい季節となりました。幼稚園の子どもたちは、新生活に少しずつ見通しをもちはじめ、落ち着いて過ごす姿も見られるようになりました。そして新入園児の子どもたちも幼稚園に慣れ始め、泣き声もめっきり少なくなりました。この間まであんなに泣いていた子が、「おはようございまちゅ」とご挨拶したりするとうれしいものです。はじめての場所でとまどいや不安があっても当然です。これから一日一日、園生活を積み重ね、小さな体と心をいっぱい使ってチャレンジしていきましょう。また年長さん年中さんは頼もしい姿をみせてくれています。その分疲れも出ているはずですのでお家ではたくさん甘やかしてエネルギーを充電させていただくと助かります。



「ゴールデンウィーク真っ只中」

みなさんご存じのようにゴールデンウィークは、4月末から5月初めまでの大型連休のことです。国民の祝日が連続してあり、通常は5連休程度ですが、振替休日などによって10連休になったこともありました。今年は前後半に分かれる連休です。ゴールデンウィークが始まったのは、1948年に施行された『国民の祝日に関する法律』がきっかけです。国民の祝日は、よりよい豊かな社会を築き上げるために、国民みんなで祝い感謝するという目的があります。この法律によって5月の連休が発生するきっかけになりました。ゴールデンウィークという名前の由来は、ラジオ放送から発生したという説があります。テレビの普及が遅れていた時期大型連休のときに最もラジオを国民が聞いていることが多く、ラジオのアナウンサーから『黄金週間』という言葉が使われていたようです。そしてよりインパクトを与えるためにカタカナになり、ゴールデンウィークと呼ばれるようになったと言われています。また、マルコ・ポーロが『東方見聞録』の中で日本を『黄金の国ジバング』と表現し、日本にたどり着いたのが5月初めだったことから名付けられたという説までありますが、これについては根拠はないようです。ということで今年のゴールデンウィークも前半部分が終わりました。明日から後半戦が始まりますが、子どもたち及び保護者の皆様の疲れを取る意味でもリフレッシュをしていただければと思います（旅行疲れなどで親子共々ダウンしている場合もあります）。ゴールデンウィーク明けはママやパパ、お家が恋しくて泣く子もいますがまた元気に登園してくれることを願っています。